

**また！また！！また！！ 出ました！！**

**要員なんてどうでもいい！！**

**時間内に終わらせろ！！**

大阪仕業検査車両所で1月9日朝、通常2名の要員が必要なところ、教育なので人がいないため、班長に代務させるという「その場しのぎ的作業」の指示が管理者から行われました。

今回、問題になったのは朝の「雪害対策列車に対する車両点検」です。

これまで会社は、この点検作業を当日の出勤者に担当させるのではなく、まもなく勤務時間が終わる夜勤の申告担当社員2名に行うように指示しています。よって、この点検を行うため、この社員2名が通常行ってきた他の作業ができなくなります。

そこで、この通常行ってきた作業の代務に前日からの夜勤で仕業検査を終えた社員2名が入るように会社は指示していました。

しかし、この朝、同じ時間帯に仕業担当社員にも「たわみ式すり板教育」「技術情報取扱い教育」が指示されていたため、通常行う作業に必要な代務者2名のところ1名しか確保されませんでした。

普通に考えれば、この教育を別の日に回し代務者を確保しますが、会社はそれもしていません。

社員がこのことを指摘すると、なんと班長を代務者に回すという暴挙に出たのです。

夜勤の班長は必ず2名体制であり、それぞれの役目があります。

また、この間会社は「班長は詰め所から出て作業を行うな」と指導してきました。

会社は、この自ら行ってきた指導を無視して、何がなんでも作業を終わらせたのです。

会社は日々事故やヒューマンエラーを防止するために規定や作業手順の遵守を社員に対して徹底させています。これを社員がやっていないと指摘事項となりボーナスカット事由にされます。

しかし、今回会社が要員も確保せず作業させたことは、まさに「安全無視・業務優先」の精神以外の何者でもありません。会社が日頃社員に言っていることと今回会社が行ったことは全く相反します。

**私たちは会社に対して、時間にゆとりがある作業と、要員もしっかり確保する**

**よう求めて声を上げていきます！！**